



阪神沿線の文化110年展実行委員会・編



阪神沿線

まちと文化の 110年



「阪神間」という地域

田辺真人

3

第1章 大大阪と神戸 阪神電鉄の開業

阪神電気鉄道の開業 ―はじめに― 12

都市間を走る高速電気鉄道 15

幕末のベンチャー企業―阪神電鉄開業前史― 16

鉄道ブームと「郊外生活」のすずめ 18

大阪駅前地下線乗り入れへ 20

伝法線、西大阪線、そして阪神なんば線へ 22

第2章 尼崎 阪神電鉄創業の地

阪神電鉄創業の地・尼崎 26

復活した尼の名物「尼いも」 28

歴史豊かなまち「大物」 30

尼崎市制施行と初代市長櫻井忠剛 32

国道電車・阪国バスと尼崎 34

阪神国道沿線のダンスホール 36

大尼崎 38

日本一の村役場・大庄村役場 40

阪尼周辺は近代建築の宝庫 42

本町通商店街から尼崎中央商店街へ 44

アクション・ペインター 白髪一雄 46

写真家岩宮武二とその弟子たち 48



第3章 西宮 酒とえべっさんと甲子園

昭和の尼崎南部を描く	50
昭和の尼崎南部を撮る	52
尼のきふねさんと尼のえべっさん	54
アルカイックホール誕生と二つの緞帳原画	56
阪神電鉄と尼崎南部地域の現在	58
再発見！ 阪神尼崎駅	60
「満山つゝじ」の広田山	64
「いちごの家」鳴尾	66
「東洋一」甲子園	68
西宮鳥瞰図の世界	70
幻の香榭園	72
西の帝国ホテル「甲子園ホテル」	74
えべっさん	76
灘の酒造り近代化の軌跡	78
灘酒造家による私学教育	80
モダンデザインの先駆者 今竹七郎	82
阪神電鉄のデザイナー 早川源一	84
阪神タイガース「虎マーク」の誕生	86
津高和一と「テント美術館」	88
西宮から世界へ 松谷武判	90
大谷竹次郎と美術館	92
小松左京と西宮空襲	94



阪神便費



第4章 芦屋 花咲くモダンの美

鉄道の開通と芦屋のまち	98
本当にあった!? 芦屋の発電所	100
白砂青松―芦屋の海の思い出―	102
芦屋のお台所―市場の活況―	104
景観が文化財に―芦屋川の歴史―	106
阪神国道から高級住宅地六麓荘へ	108
打出モダンイズム文化	110
江戸っ子が見た阪神間	112
『細雪』を生んだ恋	114
富田碎花と谷崎	116
ノーベル文学賞に近い街	118
芦屋と美術	120
芦屋カメラクラブ	122
芦屋レディ物語	124
具体美術協会／芦屋	126

第5章 神戸 海と山が育んだハイカラ文化

「鈴木商店」から「神戸製鋼」へ	130
戦前の阪神岩屋駅付近	132
阪神電鉄開業当時の神戸	134
阪神電鉄と六甲山	136
阪神高架線と三宮地下乗入れ	138



建築家清水栄二の仕事	140
神戸と華僑の繋がり―南京町の成り立ち―	142
関西学院を育てた原田の森	144
川西英の「神戸百景」	146
神戸のモダニストたち	149
竹中郁と小磯良平	
北野界限二題	152
神戸ファッション美術館からの発信	154
神戸洋菓子のみならずたち	156
神戸の現代美術家 上智祐と堀尾貞治	158
一期は夢よ、鴨居玲	160
神戸沖洲会 一人のコミュニティー	163
モノメントにみる神戸の歴史	165
167	167
関西洋楽発祥の地 深江文化村	163
167	167

Tips 阪神電車	24
	61
	62
	96
	128

あとがき	169
阪神沿線の美術館・博物館&阪神電鉄	172
参考文献	173

